

「学園南保育園」の 今後の方向性について



【日時】平成29年2月18日（土）

①午前9時～ ②午前11時～

【場所】学園南保育園 リズム室

奈良市子ども未来部
子ども政策課

本日の説明の内容

- ①市立幼保施設の再編について . . . 1
- ②「認定こども園」とは . . . 5
- ③今後の取り組み予定について . . . 12

① 市立幼保施設の再編について[計画]

本市では、市立幼保施設が抱える課題を解決するため、平成25年に再編計画を策定しました。

奈良市幼保再編基本・実施計画

本市では、「奈良市幼保再編基本計画」及び「奈良市幼保再編実施計画」に基づいて、

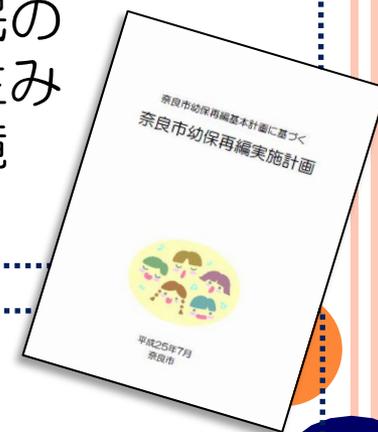
- 市立幼稚園と市立保育園を一体化
- 民間活力を最大限に活用(いわゆる民間移管)

これらを2本柱として再編を計画的に進め、「認定こども園」へ移行することにより、市立幼保施設が抱える課題を解決します。

市立幼保施設が抱える課題を解決することにより、市民の皆様がこれからもずっと、「本当に安心して子どもを産み育て、子育てに大きな喜びを感じることができる」環境づくりを実現したいと考えています。

(参考)平成28年4月時点の認定こども園数

- ・市立認定こども園設置数 … 9園
- ・私立認定こども園設置数 … 5園



① 市立幼保施設の再編について[課題]

背景

- 急激な少子化の進行
- 教育・保育ニーズの多様化

課題

- 市立幼稚園の園児数の減少
- 保育園の待機児童
- 市立幼稚園、市立保育園の施設の老朽化
- 人的な限界等によりサービスアップが困難

めざす姿

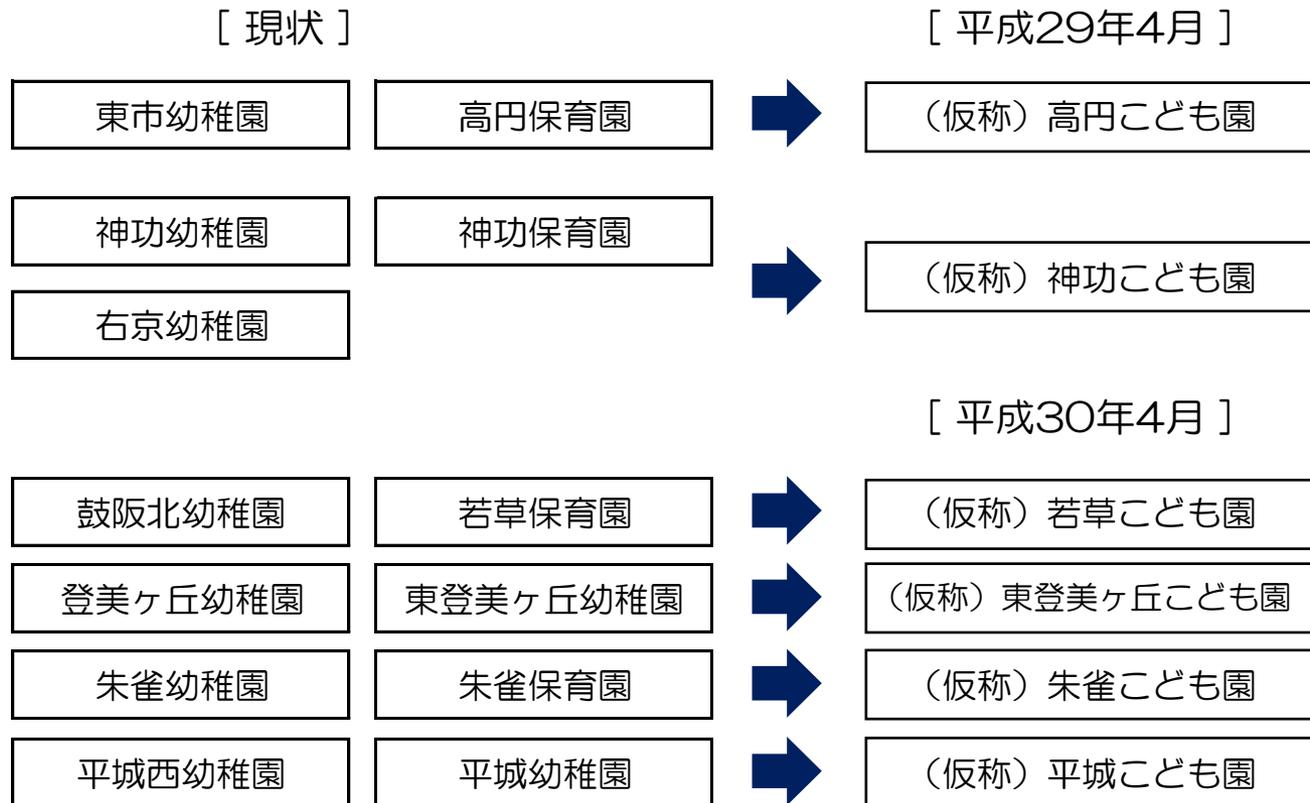
目標

- ⇒ 適切な集団規模での教育・保育の実施
- ⇒ 希望される幼稚園利用、保育園利用ニーズを踏まえた受け皿の確保
- ⇒ 限られた財源・人材の中でも、様々な教育・保育ニーズに応えることができるよう施設の運営管理の改善

① 市立幼保施設の再編について[進捗状況]

平成29年2月現在、方針決定及び公表している計画は以下のとおりです。

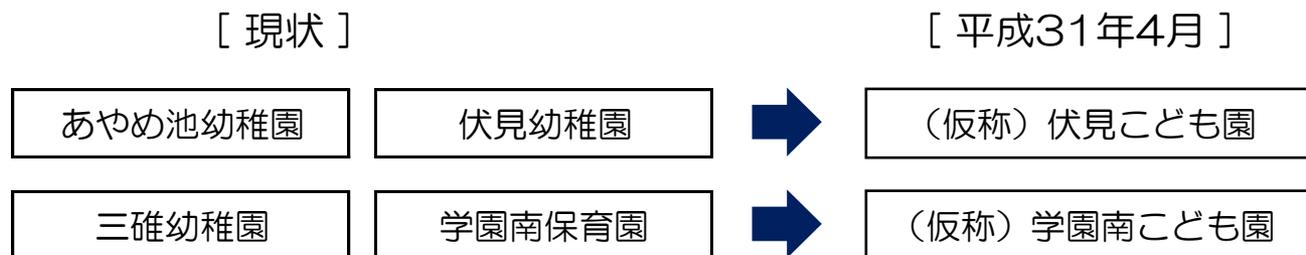
市立こども園移行計画（H29～30年度）



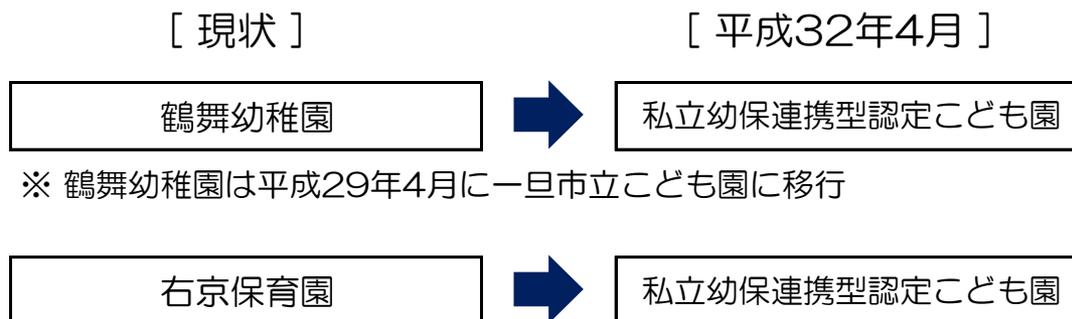
① 市立幼保施設の再編について[進捗状況]

平成29年2月現在、方針決定及び公表している計画は以下のとおりです。

市立こども園移行計画（～H31年度）



民間移管・こども園移行計画（H32年度）



② 「認定こども園」とは

長い歴史の中で、子どもや保護者と手をたずさえながら培ってきた奈良市の教育・保育

市立幼稚園

市立保育園

再編による幼保一体化

「認定こども園」
(幼保連携型認定こども園)

教育・保育を
一体的に提供

地域における
子育て支援



年齢別提供サービス



保育を必要
としない

保育を必要
とする

3~5歳
就園児

教育・保育

延長利用

給食

0~2歳
就園児

教育・保育

延長利用

給食

未就園児

親子登園や子育て相談
担当職員を各園配置

こども園の基本的な1日のながれ(イメージ)

時間	[3号認定] 保育園的な利用の 0・1・2歳児	3・4・5歳児	
		[2号認定] 保育園的な利用	[1号認定] 幼稚園的な利用
	[開園]		
7:00	順次登園	順次登園	
9:00			登園
	保育	教育・保育 (共通利用)	
	昼食(給食)	昼食(給食)	
	午睡	教育・保育 (共通利用)	
14:00		(午睡)	降園
	保育	保育	延長利用
17:00		順次降園	
19:00	順次降園		
	[閉園]		

※時間は目安です。



【共通利用時間】

3～5歳児については、幼稚園的な利用や保育園的な利用に関係なく、年齢ごとに学級で活動し、全員が一緒に遊んだり給食を食べたりします。

新しい幼児期の教育・保育のかたち I

子ども本位の教育・保育の充実

これまでの幼稚園児・保育園児が、ごく当たり前と一緒に生活できる、入園から小学校就学までの一貫した教育・保育を担う一体型施設として、年齢に応じた適切な集団規模のなかで相互に支え合い育ち合える、子ども主体の教育・保育を実施します。



たくさんの友達と遊ぶのたのしい♪
次は何して遊ぼうか！！

新しい幼児期の教育・保育のかたち II

保育サービスの拡大

給食・延長保育など、これまでの幼稚園や
保育園のもつ機能がさらに充実することで、3歳
児からは保護者の就労状況等に関わり
なく施設を利用できるようになります。

また、特別な支援を必要とする子どもの受け入れ態
勢なども充実します。

安心して子どもを園に預けて働けるね。



新しい幼児期の教育・保育のかたち Ⅲ

子育て支援の推進

こども園に通っていない子どもの家庭も含め、子育て中の親子の居場所や仲間づくり、子育て相談、情報提供などを通して、地域の子育て支援の拠点として、安全・安心な子ども・子育て支援を行います。

小さな子どもをもつ親同士、
子育て情報が交換できて助かるわ。



認定こども園の保育料

- 施設形態が「市立幼稚園、保育園、こども園」のいずれであっても、お子様の年齢と父母の所得に応じた負担（従来の保育園保育料の算定方法）となります。
- また、所得の状況と合わせて、利用形態（長時間利用・短時間利用等）やサービスの利用量（延長利用等）などによって保育料が算定されることとなります。

② 「認定こども園」とは[まとめ]

👉 教育・保育環境の充実

移行を機に施設改修を実施し、環境改善を図ります。また、幼稚園教諭・保育士資格の両免許を持つ職員が市のカリキュラムに基づき教育・保育を実施します。

👉 3歳児クラスからは就労状況等に関わらず利用が可能

1号認定・・・3歳児クラスから入園可能。入園後に就労等を始めた場合でも、認定区分を2号に変更することで継続して通園できます。

2号認定・・・入園後に就労等を辞めた場合でも、認定区分を1号に変更することで、継続して通園することが可能です。

👉 預かり保育の拡大、給食の実施（1号認定）

幼稚園的な利用(1号認定)の場合でも、延長利用が可能です。また、給食の提供も行います。

👉 子育て支援の充実

園に通っていないお子さんや保護者でも、未就園児親子登園や子育て相談等の利用が可能です。

③ 今後の取り組み予定について

奈良市では、学園南保育園の今後の方向性を次のように方針決定しました。

(1) 再編方針について

- 学園南保育園を「市立こども園（認定こども園）」に移行します。

[設置目標年]

平成31年4月からこども園へ移行

[移行の目的]

学園南保育園を認定こども園に移行させることで、

- ・ 保育を必要とする、しないに関わらず、地域の子ども・子育て家庭が利用できるような就学前の総合的な施設に生まれ変わります。
- ・ 移行を機に園舎、園庭の再整備も行い、ハード、ソフトともに、地域の子ども・子育て支援の拠点づくりをめざします。

(2) 園舎の施設整備(案)について

- 老朽化の改善と園舎規模の拡大等を同時に実現させるため、建て替えも含めた大規模な施設整備を計画しています。



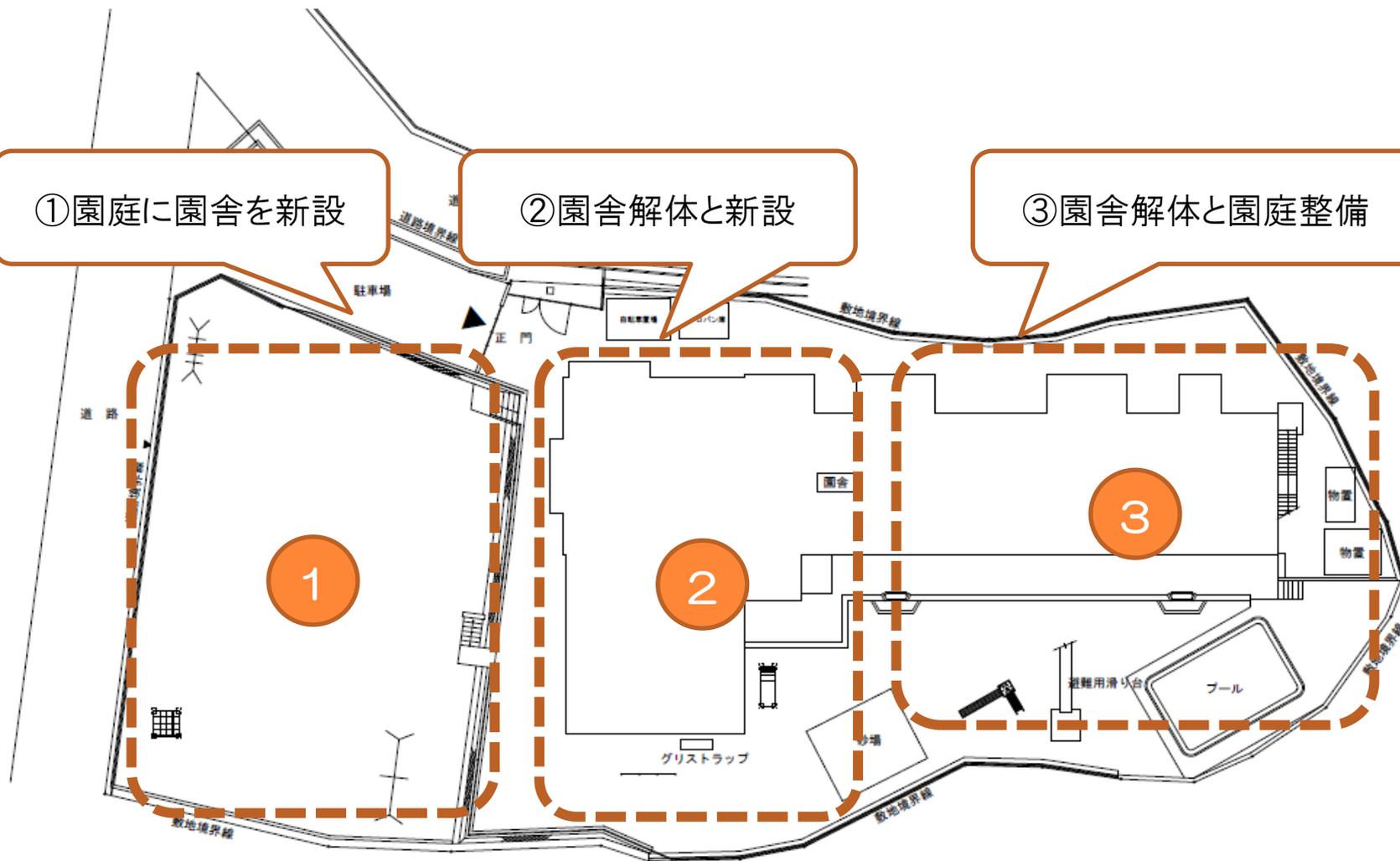
- 平成29年度より、設計作業や工程の検討に着手します。
- 工事期間は、平成30年度を想定していますが、平成29年度後半から工事の一部に着手する可能性もあります。
- また、一部の工事が平成31年度にまたがる可能性もあります。
- 施設整備に向けた予算案を3月市議会に諮り、議決され次第、本格的に動き出すこととなります。

施設整備(案)のイメージ

①園庭に園舎を新設

②園舎解体と新設

③園舎解体と園庭整備



(3) 施設整備・認定こども園移行に向けて

- 日々の保育を行いながら、施設整備を行うこととなりますので、園児、保護者等への安全面に最大限に配慮します。具体的な施設整備の検討が開始次第、保護者の皆様や園職員のご意見やご提案を伺いながら進めていきたいと考えています。
- 施設整備内容の検討状況等について、今後も説明会の開催やお手紙の配付等により、1つ1つお知らせしていきます。
- 認定こども園移行後の教育・保育内容や運営内容の詳細についても今後改めて説明会の開催やお手紙の配付を通じてお知らせしていきます。

[問い合わせ先について]

本日の説明会の内容や、奈良市の取組についてご不明な点があれば、随時お問い合わせください。

子ども政策課の問い合わせ先

[担当課] 奈良市 子ども政策課（市役所中央棟3階）

[TEL] 34-4792

[FAX] 34-4798

[MAIL] kodomoseisaku@city.nara.lg.jp

[幼保再編に関する市ホームページ]

➤<http://www.city.nara.lg.jp/www/genre/0000000000000000/1366066836305/index.html>

